

全日本杖道大会要領

1. 試合方法

- (1) あらかじめ2人1組を抽選により、トーナメント方式にて、初段・二段・三段の部は準決勝まで行い、四段・五段・六段・七段の部は1位、2位を決める。
- (2) 判定は仕・打交代して勝敗を決める。
- (3) 2人1組の選手は、同段位とする。

2. 演武の本数と指定技

(1) 段別個人試合

演武本数は、各段位とも6本とし、指定技は下記のとおりとする。

初段の部	①着 杖	②水 月	③引 提	④斜 面	⑤左 貫	⑥物 見
二段の部	①水 月	②引 提	③斜 面	④左 貫	⑤物 見	⑥ 霞
三段の部	①引 提	②斜 面	③左 貫	④物 見	⑤ 霞	⑥太刀落
四段の部	①斜 面	②左 貫	③物 見	④ 霞	⑤太刀落	⑥雷 打
五段の部	①左 貫	②物 見	③ 霞	④太刀落	⑤雷 打	⑥正 眼
六段の部	①物 見	② 霞	③太刀落	④雷 打	⑤正 眼	⑥乱 留
七段の部	① 霞	②太刀落	③雷 打	④正 眼	⑤乱 留	⑥乱 合

* 初段・二段・三段の部は、決勝戦を行わない。

* 演武は、① ② ③ ④ ⑤ ⑥の順に行い、前半3本で「仕・打」交代し、後半3本を行う。

(2) 個人演武（全剣連杖道の部）

演武本数は、六・七・八段とも5本とし、仕・打交代せず指定技は下記のとおりとする。

共 通 ①太刀落 ②雷 打 ③正 眼 ④乱 留 ⑤乱 合

(3) 個人演武（古流の部）

演武本数は、六・七・八段とも5本とし、技は任意とする。

3. 審判方法

- (1) 審判員は、3名を以って構成する。
- (2) 勝敗は、3名の審判員の多数決による。
- (3) 全剣連杖道「審判上の着眼点」による。
- (4) 主審は、試合者が開始線の位置についた時、「始め」と宣告して試合を開始させる。
- (5) 試合の終了と同時に、審判員は起立し、主審の「判定」の合図により、三者同時に意思表示する。
- (6) 主審は、「赤（白）の勝ち……勝負あり」と宣告する。

4. 服 装

- (1) 審判員は、剣道着・袴を着用し、名札を左胸部に付けること。
- (2) 段別個人試合および個人演武出場者は、剣道着・袴を着用し、名札を左胸部に名札を付けること。

以 上